

# 令和2年度第5回理事会議事録 (抜粋) 検証会

招集通知日 令和3年3月16日(火)  
開催日時 令和3年3月24日(水)午後6時00分～  
開催場所 韮山時代劇場 映像ホール  
出席者数 22名(内 監事1名)  
欠席者数 13名  
出席役員氏名 別添  
司会者 松下泰孝(事務局)  
議長氏名 大沢秀光(会長)  
議事録作成者 川口英昭(副会長)

## 議事経過と結果

定刻6時00分、事務局松下の司会で開始された。

「開会のことば」を土屋副会長が行った後、大沢会長が「会長あいさつ」を行った。経営発達支援計画の検証会。北川中小企業診断士、行政より天野経済環境部長、宮口農業商工課長、山口係長、県連設楽専門監をお迎えしての検証会と紹介。続いて事務局松下は本会定款32条5項に基づき、大沢会長を座長、議長に指名。議題に先立ち、令和2年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画の検証会に入るむねの説明が事務局松下よりなされ、検証会に入った。

### (3) 令和2年度伊豆の国市商工会経営発達支援計画検証会(最終) (別紙)(資料1-1～4)

#### ①行政、学識経験者紹介

ワンホープ・ビジネスコンサルティング	代表	北川	裕章	様
(中小企業診断士)				
伊豆の国市経済環境部	部長	天野	正人	様
〃 農業商工課	課長	宮口	広明	様
〃 〃	商工係長	山口	新哉	様
静岡県商工会連合会企画経営課	専門監	設楽	真那	様

#### ②経営発達支援計画の検証(議長は会長)

##### ○計画の概要の説明

- ・平成27年7月15日、第1回認定で本会第1期計画が経済産業大臣より認定。  
(平成27年4月～平成30年3月 3ヶ年計画)
- ・平成30年3月16日、第5回認定で本会第2期計画が経済産業大臣より認定。  
(平成30年4月～令和5年3月 5ヶ年計画) / 3年目

##### ○令和2年度伴走型小規模事業者支援推進事業補助金の報告

- ・事業内容と支出内訳

(資料1-1)

令和3年3月5日実績報告 3,082,680円

・ 事業承継事業報告会の報告 (1月20日)

(資料1-2)

塩野中小企業診断士 (WEB参加)、山口市農業商工課係長、総務委員会委員出席。

報告書の説明、今後の方針 (取組) について

○令和2年度の実績報告 (4月～3月現在まで12カ月間)

・ 実施報告書 (定性、定量報告、今後令和3年度について)

(資料1-3)

・ 大沢商工会長報告 (総括報告)

第2期発達計画、5年計画推進の3年目に当たり、第1期の実績と評価、検証を踏まえて、経営指導員を中心に全職員による巡回を行い、より多く、掘り起しや伴走支援をしている。

特に、本年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、市と連携して様々な事業を実施した。

一昨年、『伊豆の国市中小企業・小規模企業振興基本条例』が制定され、市と連携支体制がより強力に構築されているなかで、会員事業所のアンケート調査の実施、部会での結果分析、市への要望お願い、その結果、頑張ろう伊豆の国市生活応援券事業、安心安全宣言登録事業所事業などが行われ、効果が出ている。

コロナ過で、伊豆の国市商工祭産業振興祭等イベント関係は中止の事業もありましたが、代替えとして、個社支援を中心に、伴走支援を重ねている。

月2回の金融、資金繰り、雇用、労働等、経営安定の為の専門家による個別相談会の開催、国のコロナ関連の補助金や施策の普及をしてきた。

また、創業支援、経営革新などの新事業展開支援、事業承継支援の3つの支援は最重要課題として継続し行政と連携して、取り組んだ。

○評価と検証と今後

・ 中小企業診断士 北川裕章 様

地域の経済動向調査に関しては、三島信用金庫との月例会開催を除き各項目で100%の達成率となっている。

経営状況の分析、事業計画策定支援及び事業計画策定後支援は、資金調達に向けた事業計画に係る支援のみ目標以下だった。しかし、その他の項目は大幅に目標をクリアしており、高く評価できる。ものづくり補助金や持続化補助金の通年募集により、応募のための計画策定が増加しており、事業者の要望に応じた支援が着実に実施された。需要動向調査や新たな需要開拓に関しては、IZU食彩トレードフェアや伊豆の国市商工会産業振興祭などの主要イベントが中止になり止むを得ない状況だった。

地域経済の活性化に資する取組と経営発達支援事業の実施に向けた支援力向上の取組については、コロナ禍による影響を除けば概ね目標を達成した。R3年4月放送予定のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」については、地域経済への大きな波及効果が期待されている。その取組が既に開始されており、次年度のさらなる強化が期待される。

経営指導員の資質向上については、コロナ対応の支援策や補助金の適切な説明や提案、事業者の IT 支援などで重要性が増しており、今後も継続的な取り組みが必要になる。総合的にみて、コロナ禍で全体支援のイベントが中止になったことによる需要動向調査と需要開拓に関する目標が自己評価 3 だったが、その分が個別支援に向けられた。業務多忙な中で前述以外は自己評価 4 ないし 5 だったことは十分に評価できる。

・ 静岡県商工会連合会 設楽真邦 専門監 様

事業承継、事業計画策定後のフォローアップ等コロナ禍において活動が制限される中積極的に支援したことを評価する。

来年度は B I Z ミルを更に活用し支援を行うこと、伴走支援強化として経営指導員、経営支援員全職員で取り組んでいただきたい。

・ 伊豆の国市経済環境部 天野正人 部長 様

コロナ禍の状況の中、計画以上の実績を評価する。

コロナ緊急アンケート調査の実施後、連携し経済対策を行うことが出来た事は大変ありがたかった。

伊豆の国市産業経済懇話会については、地域経済活性化の取り組みとして市も積極的に行っていきたい。

大河ドラマ関係については、伊豆の国ブランドのブラッシュアップや新商品開発の取り組みに対し連携して取り組んでいきたい。

③その他

・ 今後の予定

令和 3 年度

市と連携して事業継続力強化支援計画の策定と県知事への申請への取り組み  
伴走型補助金の申請と発達計画 4 年目の推進

事務局松下が検証会について質疑を求めたところ特になく検証会を終了した。